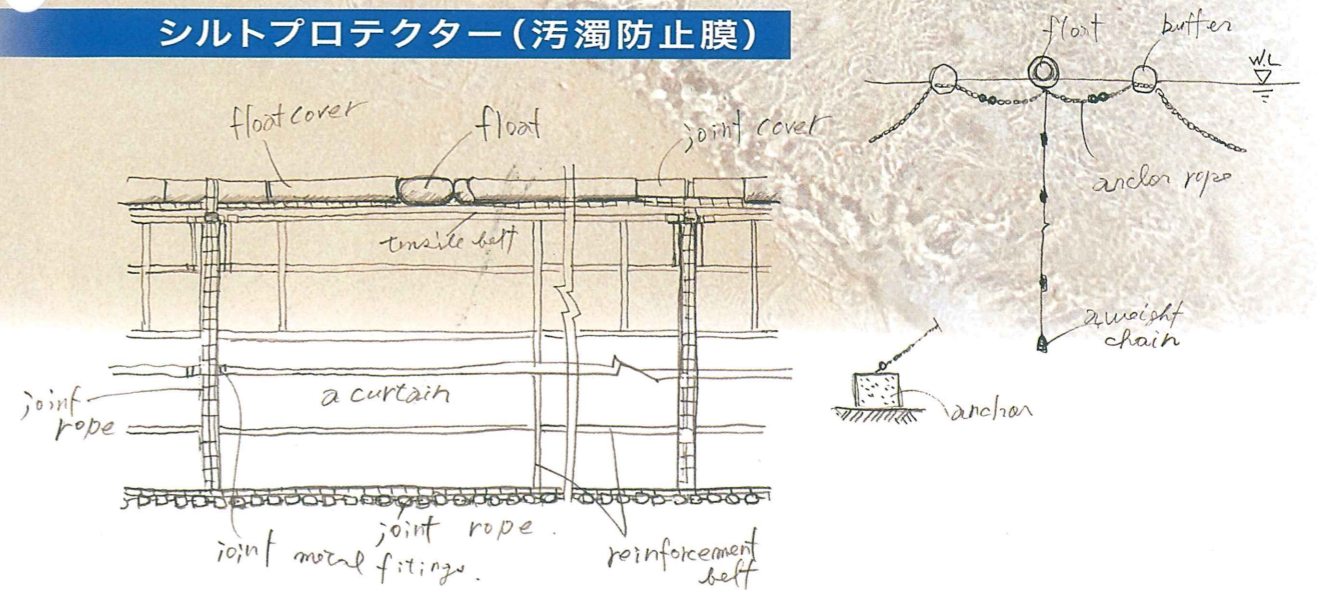


SILT PROTECTOR[®] SERIES

シルトプロテクター(汚濁防止膜)



MakMax

〔製造元〕 太陽工業株式会社 <http://www.taiyokogyo.co.jp>

〔販売元〕 株式会社 太陽テント北陸 <http://www.taiyotent.com/hokuriku/>

本社：〒920-0061 石川県金沢市問屋町2丁目24番地
TEL:076-238-4110 FAX:076-238-4266

新潟営業所：〒950-0944 新潟県新潟市中央区愛宕2丁目8番地1
TEL:025-281-3311 FAX:025-281-3310

金沢営業所：〒920-0061 石川県金沢市問屋町2丁目24番地
TEL:076-238-4110 FAX:076-238-4266

能登工場：〒929-2222 石川県七尾市中島町中島23部27番地
TEL:0767-66-0376 FAX:0767-66-0384

富山営業所：〒939-8072 富山県富山市堀川町98番地
TEL:076-421-8000 FAX:076-421-7552

商品センター：〒929-1305 石川県羽咋郡宝達志水町竹生野西8
TEL:0767-28-5900 FAX:0767-28-5933

福井営業所：〒918-8014 福井県福井市花堂中1丁目3番30号
TEL:0776-50-2080 FAX:0776-50-2315

株式会社 太陽テント北陸

シルトプロテクター計画は、海象・気象・設置条件・工事環境などの調査・分析から、すでに始まっています。

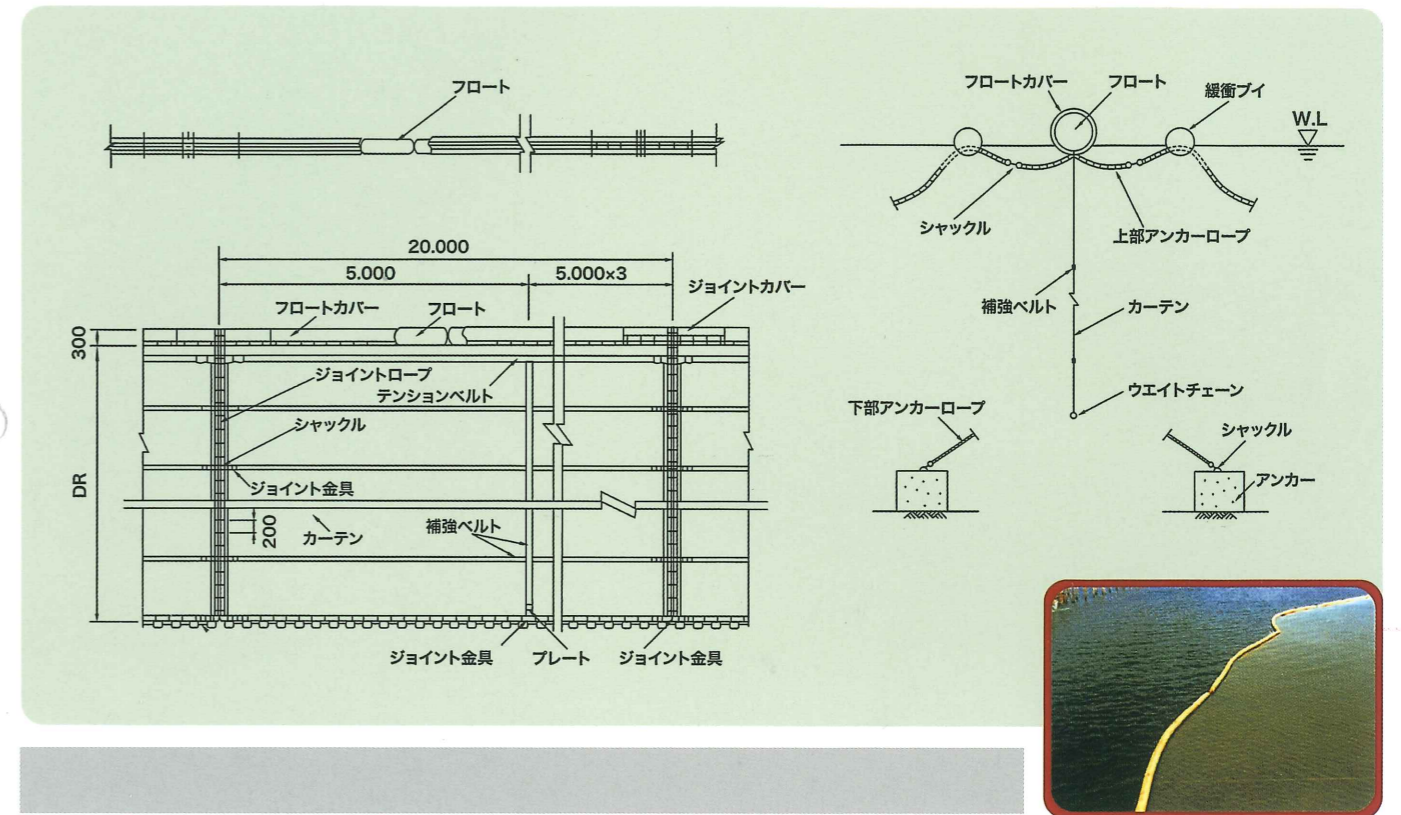
シルトプロテクターは、設置条件や工事内容に応じた構造計算によって構造が定まります。つまり、海象・気象などの綿密な調査に基づいた設計が必要となります。例えば、フロート部、カーテン部に作用する外力を算出して求める膜面張力など、その構造部材の寸法・強度の決定に適切な部分係数(安全率)を考慮することはいうまでもありません。そして、厳密な品質検査を満足したものが製品として世に送り出されていくわけです。人間の知恵と浮体膜構造技術がうまく調和した「シルトプロテクター」。工事計画にあったシステム、タイプをご利用ください。

●標準仕様(固定式垂下型)

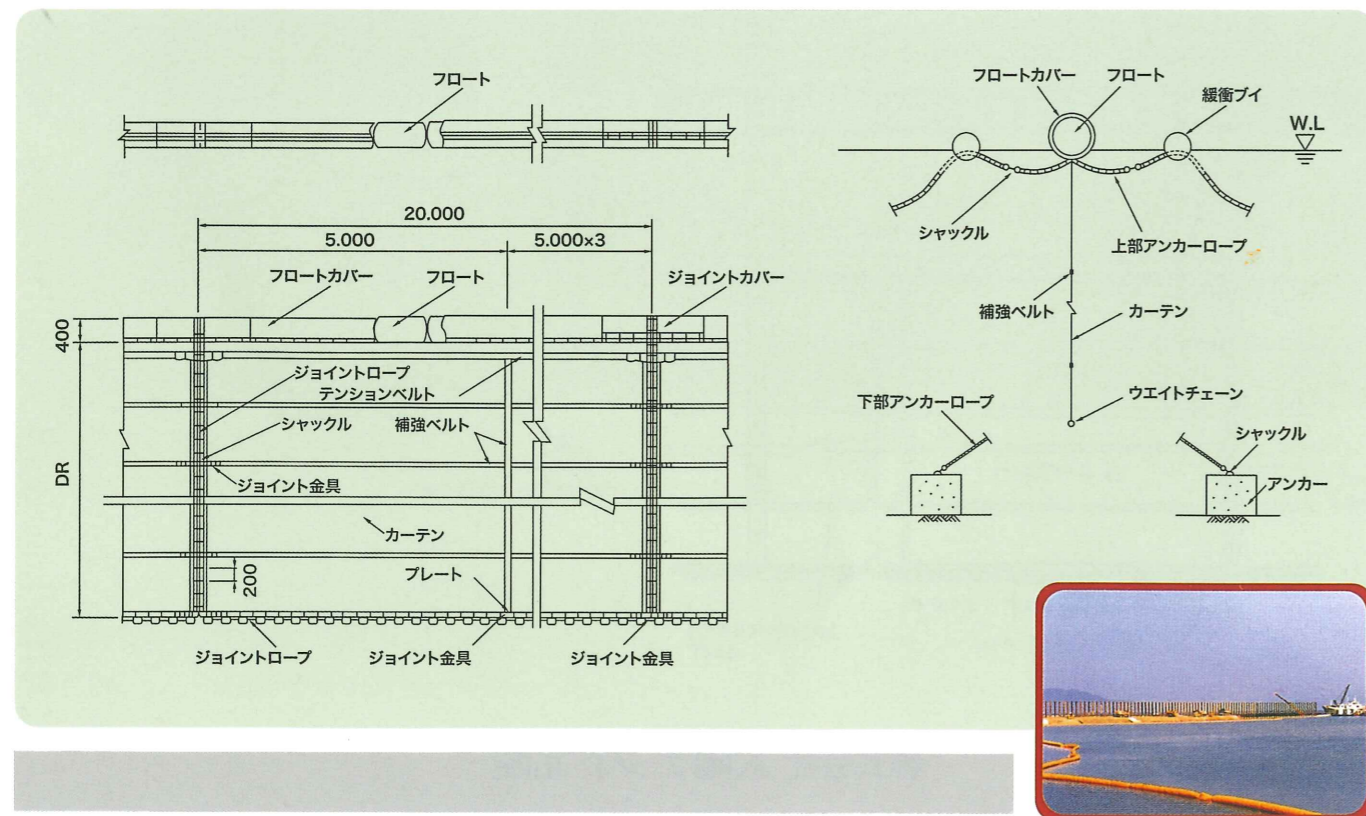
タイプ	設置場所の条件	仕様			
		フロート径 (mm)	フロート形式	カーテン生地 (品番)	ウエイトチェーン (kg/m)
B	有義波高:1.0m以下、流速:0.2m/s以下 (防波堤内の広い海域、あるいは自然の地形で遮蔽された湾奥の海域)	φ 400	連続	#500・#300	5~10
C	有義波高:0.8m以下、流速0.1m/s以下 (防波堤内の中程度の広がりをもつ海域)	φ 300	連続	#500・#300	5~10
D	有義波高:0.5m以下、流速0.05m/s以下 (湖沼、あるいは湖沼と同等に静寂な十分に遮蔽された湾奥の海域)	φ 300	単独	#300	3~5

- ※1 上記設置場所条件は、目安であり、風速、水深、カーテン丈等により異なります。
- ※2 連続型は、フロート部に浮力体が連続して配置されます。単独型は浮力体が不連続のものをいいます。
- ※3 カーテン丈は、水深、及び、状況に応じて1m~10m(1m単位)で揃えております。
- ※4 カーテン#300の初期引張強度は、2,942N/3cm。カーテン#500の初期引張強度は、4,904N/3cm。

■シルトプロテクターCタイプ仕様図(固定式垂下型)



■シルトプロテクターBタイプ仕様図(固定式垂下型)



■シルトプロテクターDタイプ仕様図(固定式垂下型)

